

2017年(平成29)6月7日(水) 第44回 例会 (通算2750回)



人類に
奉仕する
ロータリー

RI 会長: ジョン・F・ジャーム

Weekly Report No.2628

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ

地区ガバナー: 上山 昭治氏

「出会いを大切に」

石垣ロータリークラブ

Rotary



ロータリーレート \$1=¥110

石垣ロータリークラブ755年のあゆみ

1998~1999年度

会長テーマ《ロータリーを楽しもう》



三十八代会長 大原 正啓

副会長 水田 春治 幹事 入松田 孫幸
副幹事 宮城 隆

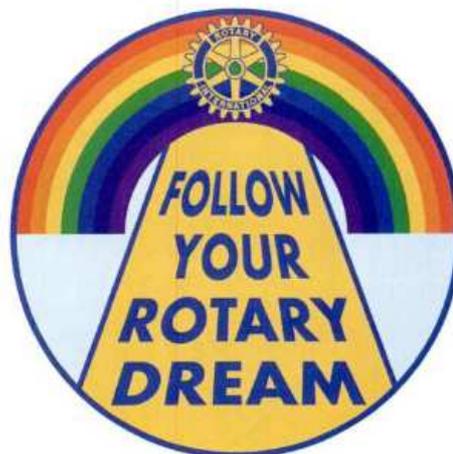
- 米沢上杉 RC との交流夜間例会
- 台東東 RC 歓迎交流会(4/15)
- 台東東 RC16 周年記念式典に参加(5/1)

《社会情勢》 1999年
 ・竹富町制施行 50 周年記念式典
 ・八重山平和祈念館開館

【RIテーマ】



1998~99年度 RI会長
ジェームス L・レイシー
(米国・クックヴィルRC)



ロータリーの夢を追い続けよう

会長 : 前木 繁孝 副会長 : 大浜 一郎 幹事 : 前原 博一
 副幹事 : 宮城 早人 SAA・出席 : 遠藤 正夫 情報・会報 : 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30~13:30
 例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroary@ninus.ocn.ne.jp

— . . . — 第2749回 2017年5月31日(水) 例会報告 — . . . —

- 司会進行：我那覇 宗広
- ロータリーソング：えんどうの花・四つのテスト
- ソングリーダー：宮良 榮子
- 会員卓話：大浜 勇人氏
- メイクアップ：宮良 薫・羽地宏幸
- 出席報告

会員総数 39名 出席義務会員 38名
 出席数 25名 欠席数 13名
 出席率 65.79%(5月通算出席率 63.16%)

 **本日のここここ**

	小計	累計
BOX	¥3,000	¥260,000
コイン	¥3,792	¥128,719
合計		¥388,719

- 本日卓話の大浜勇人さん、ありがとうございました。
(前木 繁孝)
- 第16回台琉ヨットレース(シーボニアヨットクラブ会長・上野 RC 会長大野氏参加)27艇中、3レースに参加して総合4位になりました。また多くの皆様よりご協力を頂きました。感謝申し上げます。(上勢頭 保)
- 今日、無事、法人3月申告が終わりました。ゆっくり寝ます。
(前原 博一)

会長挨拶：前木 繁孝



今日少し多めの会員の皆様と共に今日の例会が開催できることを嬉しく思います。出席カードに今日の印鑑を押すと、ちょうどあと4個残っていました。とても清々しい気分です。これまで11か月間いたらない会長の下で、不愉快な思いもあったかとは思いますが、残り1か月間しっかり努力してまいりたいと思います。

私は入会してから10年を越えましたが、ロータリーに関わったおかげで、いろんな事が理解できるようになったし、またいろんな方々とお知り合いになれて、仕事の中でも楽しみの中でもたくさ

んの仲間が増えた事は本当に良かったと思っています。私を入会させた方には、有難いと感謝もしています。またロータリーに対する魅力は深くかかわる事で、その魅力をどんどん感じれるようになった事を実感しております。それからロータリーに入会して出会った「4つのテスト」ですが、実際会社に掲げていて、何か物事を行う時に、ふと考えたりするような習慣がつくようになりました。今やろうとする事が、真実かどうか、それが皆に公平でひいきをしていないか、そしてそれに対する愛着を感じながらやれることなのか、最後に本当に皆の為になるのか、そういう事を考えられるようになったという事、その言葉に出会った事は本当に有難いなと思っています。これからもロータリーに所属していることの喜びを感じながら、益々魅力を感じながら、また地域社会にも貢献していけたらなという気持ちを強くしているところでございます。

今日の卓話は大浜 勇人会員です。米山についてのお話をして頂きます。残り1ヶ月の最終例会は会員のご家族も含めて楽しい例会に行ければと思っています。

会員卓話：大浜 勇人氏

アパホテル石垣島 代表取締役



～テーマ「米山奨学会について」～



米山奨学事業は日本独自の事業です。大学生・大学院生を中心に、日本で学ぶ外国人留学生を支援する事業です。一般的に奨学事業というのはお金を渡すだけだと思いますが、ロータリー米山奨学事業は世話クラブ・カウンセラー制度というのが特徴だと思います。1946年米山梅吉氏逝去、米山梅吉氏は日本に初めてロータリーを持ってきた方、東京ロータリークラブを設立した初代の会長になります。1946年というとは終戦の翌年になりま

す。1949年日本のロータリーが国際ロータリーに復帰。1952年東京 RC・古沢文作氏が事業構想を立案して、平和日本を世界へという思いから米山基金を立ち上げております。1957年全国組織へ、1967年財団法人設立という流れになっています。今年度は財団設立から、この7月で50周年になります。日本最大規模で、2016学年度の学生数750名、累計で19,197名、分布でいうと中国、台湾、韓国がほとんどを占めています。当地区の米山奨学生は2016年度で41人、今年度は37人に減っています。沖縄分区では3名お世話しています。

奨学生はどのようにして選ばれるのか。まず地区が指定校を選び、指定校から候補者が推薦され、応募書類のチェック、被推薦者を地区が面接選考します。米山奨学生になるためには、書類審査や面接を受けるのですが、経済的に困窮している学生が選ばれるわけではありません。珍しい国籍から選ばれるわけでもなく、選考基準は学業、異文化理解への柔軟性、コミュニケーション能力などを総合的に判断して公平に選定します。去年の12月面接に立ち合わせてもらいましたが、4名の学生に来て貰って、2人を選ぶという中で、討論形式で面接をしていました。内容は1枚の抽象的な絵について討論してもらいます。その中でコミュニケーション能力などを判断するという形で選考されていました。

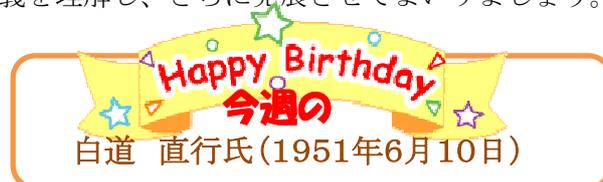
どんな成果があるのか。元奨学生の方が世界中で活躍されております。去年の12月に江戸川東 RC の嶋村さんにモンゴルと一緒に連れて行ってもらいました。ガンさんという校長先生にお会いして、この方は日本で米山奨学会にお世話になっておりました。今、モンゴルで学校を立ち上げています。中高一貫校で日本語で子供たちに教えている学校の校長先生をやっていました。

どんどん増える学友会という事で、台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、日本の33カ所、学友会がどんどん増えています。各学友会の活動としてはタイでは植樹活動をやったり、韓国では韓国米山セソウルロータリー衛星クラブを設立したり、ベトナム・ホーチミンでは老人福祉施設訪問するなど、活発に活動しています。国内の学友会の活動、岩手・宮城ではリンゴ

狩りとか、神奈川では奨学生と学友が国際交流として、母国の料理を振る舞ったりなど、様々な活動をしています。

次に寄付はきちんと使われていますかという事で、2016年度は収入16億4千700万、普通寄付が4億2千200万、特別寄付が11億5千500万、利子収入が7千万ほど、支出は同額なんですけど、奨学金としては10億550万、補助費2億、全予算の76.3%、管理費が6千400万、3億2千万ほど黒字が出ています。この3年間は黒字になっています。事業費になる寄付金が年々減って来ています。そうすると受け入れる奨学生の数を減らさざるを得ない。今まさに右肩下がりな終息状態に入っているのを、出来るだけ増やしていきたい。当地区の寄付実績、全国平均が17,779円、当地区が17,840円です。13位くらいになると思います。ちなみに普通寄付石垣 RC は1人あたり1,500円やっております。特別寄付に関しては、去年上勢頭 保先輩に50万円という多額の寄付を頂きました。寄付金は2000円以上で所得税、法人税御税制優遇が受けられます。寄付が増えれば、より多くの奨学生を採用できます。当地区の目標額は20,000円となっておりますので、ぜひよろしくお願い致します。

最後に2017年7月、米山記念奨学会は財団設立50周年を迎えます。設立当時はわずか4,000人だった留学生が現在は20万人を超えております。留学生の受け入れは、グローバル社会の今、重要な国家戦略の一つになっています。米山奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生にただお金を支援するものではありません。一番大切なことは、彼らに日本での勉学を全うしてもらおう事ですが、それと同時に、実際の日本を知ってもらう事。日本に友人をたくさん作ってもらう事。平和を求めるロータリー精神を理解し、信念を受け継いでもらう事。これは人間対人間の交流でしか出来ない事です。財団設立50周年を前に、もう一度、我々の先輩が作り受け継いできた米山記念奨学事業の意義を理解し、さらに発展させてまいりましょう。





～例会風景～



(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま 206号 ★ 2017年5月12日発行

《今月のピックアップ記事》

今夏、熊本に集まりませんか？ — 感謝 in 熊本 —



ロータリー米山記念奨学会は今年7月、財団設立50周年を迎えます。これを記念して、世界の米山学友が集まり50周年の節目を祝う「感謝 in 熊本」が開催されることになりました。

米山学友合同会実行委員会(実行委員長 何玉翠氏)主催、第2720地区米山記念奨学委員会と同地区学友会がホスト、当会の後援によるイベントです。

現役の米山奨学生、国内外の学友はもちろん、ロータリアンや家族の参加も歓迎いたします。ふるってご参加ください！

日 時: 2017年8月26日(土) 午後17時～21時(式典&懇親会)

場 所: ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

登録料: ロータリアン1万円、米山学友・奨学生5千円、一般友人・家族6千円

申 込: 日本国内在住の方は米山学友合同会へメール送信し指定口座へ振込

締 切: 2017年7月31日(状況により変動する場合があります)